

ベラルーシにおける問題点と要望

| 区分 | 意見元 | No | 問題点 | 問題点内容 | 要望 | 準拠法 | |
|----|---------------|-----|-----|--------------------|--|--|---|
| 9 | 輸出入規制・関税・通関規制 | 日機輸 | (1) | 関税同盟諸国の制度の相違 | 関税同盟の認可取得プロセスが三国間で異なるため、認可申請に準備する資料が異なる。また、三国でそれぞれ異なる通関チェックを行うため、国ごとに認可申請が必要となる場合がある。 | 三国間での共通の認可取得プロセスの構築と、通関時のチェック内容の透明化を望む。 | 三国関税同盟 関税同盟技術基準 020/2011、004/2011 |
| 19 | 工業規格、基準安全認証 | 日機輸 | (1) | 三国関税同盟に伴う製品安全規則の変更 | 三国関税同盟成立に伴う、製品安全関連規制の変更や環境関連規制の制定により、同規制の要求するロシア語やカザフ語での記載項目など、国際規格やEU法と異なる対応が要求され、負担がふえる。 | 産業界に不要な負担が発生する為、国際規格に極力準拠し、負担を増やさない方向で進めてほしい。 | 三国関税同盟 |
| | | 日機輸 | (2) | 認証取得情報のWeb公開 | 認証取得と同時に製品のモデル名などが、当局のWebサイトに公開される。製品発表前の新製品名が公開されてしまうことは販売戦略上、致命的となる。 | 企業からの申請に基づき、一定期間は機密扱いとして非公開にしている国もあるので、同様に対応して欲しい。 | 関税同盟技術基準 020/2011、004/2011 |
| | | 日機輸 | (3) | ベラルーシ固有の省エネ規則の発効 | 2016年6月にEAEUの省エネ規則のドラフトが発行されていたにも係わらず、2016年10月にベラルーシが独自の省エネ規則を公表、2017年9月より発効。 | EAEUの省エネ規則の発効を加速させる。 | The Regulation No.849 by Council of Ministers of the Republic of Belarus |